一般社団法人まどかこどもレグル

Annual Report 2021-2022

一般社団法人まどかこどもレグル

〒270-1431 千葉県白井市根 116-16

TEL：**047-707-2976**（代表） ホームページ：**https://regle.jp/**

ご挨拶

日頃より一般社団法人まどかこどもレグルの活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。2021 年度の活動報告をまとめましたので、会員の皆様にお届けいたします。

一般社団法人を立ち上げてから 1 年が経ちました。新型コロナウイルス感染症という突如現れた大きな壁を前に、それぞれの事業で試行錯誤をし、そのつど最善の対策を模索しながら、たくさんの皆様のご支援のもとで歩みを進めることができました。
賛助会員、法人会員、サポーターの皆様のご理解とご協力にあらためて御礼申し上げます。

この数年、コロナ禍において様々なことが制約され、多くの行事も中止を余儀なくされました。子どもたちの口から「楽しみだったけど、しょうがないよね」という言葉を聞くたびに、胸が締めつけられるような思いをしてきました。
なんとか実施する方法はないものか、しかし感染におけるリスクは避けなければならない。そんなジレンマを抱えながら職員全員が子どもたちとのかかわり方を見直し、ひとつひとつの活動における対策を話し合ってきました。

大人にとっては長い人生の中の 1、2 年の出来事かもしれません。
しかし、子どもたちにとっての 1 年は、とても大きな、かけがえのない時間です。

この大きな壁はいつまで続くのかわかりません。
しかし「今はしかたない」で終わらせるのではなく、こんな時だからこそ「自分たちにできることはないだろうか」と考えることをあきらめず、歩みをとめず、これからも子どもたちがわくわくする毎日の中で自分だけの「ものさし」を育んでいけるよう、精一杯努めてまいりたいと思います。

これからも、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

一般社団法人まどかこどもレグル
代表理事 吉岡 量

“ 時代 ” のものさし、“ 社会 ” のものさし、“ 大人 ” のものさし、“ 自然 ” のものさし、“ 世代 ” のものさし。私たちは日々、さまざまな「ものさし」に囲まれて生きています。いくつもの尺度とともに生きていくからこそ、たくさんの経験を通じて様々な価値観や個性に出会い、体感しながら、自分だけの「ものさし」を育んでほしい――そんな思いのもとで、まどかこどもレグルの事業を営んでいます。あらためて、3 つの事業の概要をお知らせいたします。

自然教育事業

事業の軸となるのは、「自然」や「農業」、そして「地域」とつながること。専門家による自然観察会や、生きもののすみかであるビオトープづくりなど、自然や農業に触れる体験を通して豊かな感性や情緒、創造力を育んでいきます。地域での活動を通じて “ 子育て世代 ” と “ 地域に根ざす団体や行政 ” とをつなげ、自然や農業への興味関心を醸成しながら、人も自然も健やかな地域社会の実現を目指します。

学童保育事業 ratoon

たくさんの「好き」や「わくわく」が芽吹きはじめる小学生時代。心と体を存分に使って成功や失敗を経験しながら、一人ひとりの “ やりたい ” を叶え、生み出せる場所を目指しています。活動を通じてアイデアを形にする面白さや、思いを伝える大切さを体感できる機会も提供しています。また、多様な大人との交流も積極的に取り入れ、大人や地域とつながりながら豊かな心と原動力を育む場をつくっています。

音楽療法事業「おとのわ」

障がいや発達に不安のある子どものための音楽療法教室として、悩みや状況に合わせたプログラムを設定し、発達の促進やコミュニケーションの向上、発声や発語の促し、社会性の習得など、多面的な視点からのアプローチで子どもの可能性を広げていきます。好きなことや夢中になれることを見つけたり、自由に表現する楽しさを知ったりと、さまざまな感覚や感情を知り、経験することを大切にしています。

自然教育

事　業

Nature education

自然教育事業では、自然や農業に触れる体験を通じて子どもたちの感性や創造力を育てるとともに、幅広い世代の方とのつながりを育むことを目指して活動しています。
2021 年度は白井市平塚にある森をお借りできることとなり、「レグルの森」と名付けました。縁側のある昔ながらの造りの民家と納屋、庭には梅や柿、裏山には草木と竹が育ち、季節ごとの楽しみ方が見つかる場所です。コロナ禍によりイベントを実施できない期間が長くありましたが、春はたけのこ掘りや竹林の手入れ、夏は昆虫採集や草刈り、秋冬は焚火やしめ縄づくりなどを子どもたちやご家族と行いました。
また、白井市とまどか幼稚園が協働で取り組んでいる、けやき台多目的広場のビオトープ事業にも協力団体として関わり、田んぼでの田植えや稲刈り、しめ縄づくり、整備作業などを行いました。
2022 年度は活動頻度をさらに増やし、できる限り感染状況に左右されず実施できるよう計画を進めながら、地域の皆様とさまざまな体験をご一緒したいと考えています。

活動実績

開催日	カテゴリ	内容	参加人数
4 月 10 日	環境整備	まどかガーデンからレグルの森へ石窯移設	7 人
4 月 17 日	イベント	春の里山休暇／たけのこ掘りと竹林管理	63 人
6 月 5 日	イベント	けやき台多目的広場での田植え活動	55 人
6 月 11 日	環境整備	石窯屋根づくり、うめの実収穫、草刈り、竹林整備	5 人
7 月 10 日	環境整備	夏のイベントに向けた準備として大掃除	10 人
7 月 18 日	環境整備	夏のイベントに向けた準備として大掃除	11 人
7 月 30 日	イベント	夏のこどもデイキャンプ	19 人
10 月 10 日	イベント	けやき台多目的広場での稲刈り	57 人
10 月 13 日	環境整備	専門家協力のもとレグルの森にフクロウの巣箱を設置	5 人
12 月 11 日	イベント	けやき台多目的広場でのしめ縄づくり	24 人

資金調達

2021 年度の活動資金調達のため、以下 2 件に申請しましたが、どちらも不採択の結果となりました。
●公益財団法人ノエビアグリーン財団　助成事業
●公益財団法人トム・ソーヤースクール企画コンテスト

活動の様子

環境整備

白井市平塚にお借りしている「レグルの森」の整備や、イベント拠点となる民家の清掃を行いました。





環境教育

学童保育 ratoon を卒業したお子さんがフクロウ巣箱づくりを計画し、ご家族の協力のもと巣箱が完成。鳥類専門家に相談してレグルの森に設置しました。




イベント

「レグルの森」では春の自然観察やたけのこ掘り、竹林の手入れやデイキャンプなどを開催。白井市のけやき台多目的広場のビオトープでの田植え・稲刈り、ビオトープの手入れや生きもの観察、しめ縄づくりなどを実施しました。









利用者の声

朝から夕方までの長い時間、子ども一人で大丈夫かと心配もしましたが、生きもの の探しをしたり、ピザやかき氷をおいしく食べたり、時間を忘れるくらい思いっきり楽しめたそうで、参加できてよかったなと思います。竹でつくった水鉄砲も気に入って、ずっと遊んでいました！

イベント参加後から野菜への興味が強くなったようで、今まで以上に積極的に野菜を食べてくれるようになりました。

せっかくの夏休みはなかなか出かけられなかったけれど、イベントを開催していただきとてもありがたかったです。

コロナ禍で帰省や外出なども難しい中、ちょっぴり非日常な体験ができたことは息子にとって良い気分転換にもなり、とても楽しかったようです！

親から離れて同年代のお友だちと過ごした、初めてのデイキャンプ。とても楽しかったようで「来年もまた行きたい！」と話しています。

学童保育事業

ratoon

After-school care

新型コロナウイルス感染症の拡大により白井市でも休校や学級閉鎖が相次ぎましたが、ratoon では室内の消毒やパーテーションの導入といった感染防止対策を徹底しながら開室を継続しています。子どもたちもマスク着用や黙食といったルールに慣れてきましたが、一日も早く思いきり声を上げて活動できる日がくることを願ってやみません。

学級閉鎖やオンライン授業など、今までとは違う日常が続く中でも子どもたちは変わることなくそれぞれのやりたいことに取り組んでいます。イベントや行事の縮小などもありましたが、ハロウィンやクリスマスといった季節の行事では子どもたちとともに工作やパーティーの計画を練り、笑顔あふれる放課後をつくっています。

また、2021 年からは「レグルの森」という新しい活動のフィールドを得て、夏にはキャンプ、冬には焚火デイキャンプを開催しました。ratoon の活動の柱のひとつでもある「ratoon 田んぼ」でも、過去最大となる総量 48kg ものお米を収穫することができました。

2021 年 10 月より新入会児童の募集を行い、2022 度は 18 人の新しいお子さんを迎えてスタートしました。いまだコロナ禍の最中ではありますが、子どもたちの「やってみたい！」を実現できる場所、応援できる場所として職員一同で環境を整えながら、子どもたちの安心安全な放課後を支える活動を行っていきます。

活動実績

開催日	内容	参加人数
5 月	ratoon 田んぼにて 『親子で田植え』を実施	45 人
7 月	ratoon 田んぼにて『草取りの会』 開催	25 人
7 月	レグルの森にて ratoon キャンプ （7 月 29 日～ 30 日）	15 人
8 月	レグルの森にて ratoon キャンプ （8 月 18 日～ 19 日）	15 人
8 月	レグルの森にて ratoon キャンプ （8 月 1 9 日～ 20 日）	14 人
9 月	ratoon 田んぼにて『親子で稲刈り』を 実施	46 人
11 月	レグルの森にて ratoon 焚火デイキャンプ（11 月 20 日）	25 人
12 月	レグルの森にて ratoon 焚火デイキャンプ（12 月 11 日）	18 人

利用者・会費の推移

	利用者数（延べ）	会費
2021 年 4 月	582 人	1,551,300 円
5 月	524 人	1,363,900 円
6 月	575 人	1,329,800 円
7 月	511 人	1,461,200 円
8 月	455 人	1,555,600 円
9 月	474 人	1,174,100 円
10 月	482 人	1,158,100 円
11 月	500 人	1,174,000 円
12 月	504 人	1,178,600 円
2022 年 1 月	484 人	1,105,300 円
2 月	440 人	1,032,200 円
3 月	468 人	1,179,400 円

資金調達

新規法人立ち上げと、2022 年度以降の安定した運営継続のための準備資金として、日本政策金融公庫より 300 万円の融資を受けました。安定した継続運営ができるよう活用してまいります。

●日本政策金融公庫　新型コロナウィルス感染症特別貸付　金額 300 万円（金利 0.2%）

活動の様子



利用者の声

いつも子どもたちの気持ちに寄り添って対応していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。昨今の社会情勢の中でもさまざまな取り組み企画していただき、親子で心安まる時間になっています。これからも安心して通える場としてよろしくお願いします。

コロナ禍で限られた人としか会えない中、ratoon の先生方との体験が子どもたちの経験となり、いい思い出になっているようで嬉しく思います。

田植えの帰り道、何度も「楽しかった！　申し込んでくれてありがとう」と言っていました。だんだんと親の手を離れて友だちとの活動がメインの年頃になってきたので、親子で一緒に活動できる機会がとてもありがたいです。

保育園ではお泊りが体験できなかったため、夏のキャンプに参加させました。初めて親から離れる体験を味わうことができ、親として成長の評価にもなり、参加できてよかったです。

音楽療法事業
「おとのわ」

Music therapy

新規利用者に対しては、保護者からお子さまの様子や要望について詳細な聞き取りを行った上で、まずは環境と人に慣れるために以下のような活動を実施しました。

- 好きなものを見つけて一緒に楽しむ時間を過ごし、楽しい場所であることを感じてもらう。
- ひと通りの楽器に触れながら、どのような楽器や音に興味があるのか、またどのような楽器や音を苦手とするのかを確認する。
- 楽器操作やトランポリン・バランスボール等の利用を通じて、微細運動・粗大運動の様子を観察する。
- 活動中のやり取りを通じて、コミュニケーションの有無、言語理解の程度を確認する。
- 上記を通じてお子さまの得意・不得意を見つけ、得意なことはさらに伸ばし、課題があればそこにアプローチできる活動を実施していく。

継続利用者に対しては、引き続き保護者から要望の聞き取りを行い、個々の課題に合わせた活動を実施しました。

- オリジナルの楽譜を使った演奏（ピアノ、ピアニカ、てっきん、ベル等）
- 好きな音楽に合わせた楽器の自由演奏
- トランポリンやバランスボールを使用し、音楽に合わせて体を大きく動かす活動
- 音楽を利用して、色、文字、数字等に慣れる活動
- 言葉とリズムを組み合わせたリズム練習
- 五線譜の楽譜を使った演奏や実際に自分で楽譜を書く練習　など

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、笛やピアニカなどの吹く楽器は保護者から希望があった場合のみ使用しています。使用する場合、ピアニカは１人に１つ専用ホースを準備し、使用後は洗浄・除菌。笛はすべて洗浄・除菌した上で１人１つ専用の楽器を決め、使用後は洗浄・除菌するなどの対策を行いました。

個別セッション推移

	実施回数	セッション料
2021 年 4 月	15 回	64,000 円
5 月	18 回（体験 1 件）	68,000 円
6 月	22 回（体験 1 件）	84,000 円
7 月	31 回（体験 4 件）	108,000 円
8 月	28 回（体験 1 件）	120,000 円
9 月	27 回	116,000 円
10 月	28 回	112,000 円
11 月	28 回（体験 1 件）	108,000 円
12 月	31 回	128,000 円
2022 年 1 月	31 回	124,000 円
2 月	27回（体験 1 件）	120,000 円
3 月	31 回（体験 1 件）	124,000 円

新規利用者数

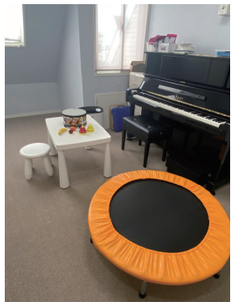
	人数		人数
2021 年 4 月	1 人	10 月	0 人
5 月	0 人	11 月	0 人
6 月	2 人	12 月	1 人
7 月	3 人	2022 年 1 月	0 人
8 月	1 人	2 月	0 人
9 月	0 人	3 月	1 人

資金調達

2021 年度の活動資金調達のため、下記に申請しましたが不採択の結果となりました。

- NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド「2021 年度ドコモ市民活動団体助成事業」

活動の様子



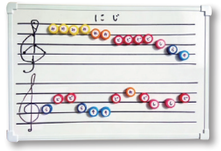
好きな音楽に合わせてトランポリンを跳ぶことで、楽しみながら自然と姿勢を保持する力がついたり、体の軸を鍛えたりすることができます。また、楽器を鳴らしながら跳ぶことでバランス感覚やリズム感が身につき、集中力を高める効果もあります。



活動内容はその日によって変わります。この日は、楽器や道具を使ってピタゴラ装置に挑戦しました。何度も楽器を交換したり、位置の微調整をしたりしながら完成！　鉄琴でつくったレールにボールを転がすと、たいこの中に落下し、中にある鈴に当たって音が鳴る仕組みです。相談しながら一生懸命考えて、うまくいかなくても何度も挑戦することで、完成した時の達成感や満足感はより大きなものになります。



ピアニカや笛などの吹く楽器を使って呼気のコントロールや、舌の使い方を習得する練習をします。また、ピアニカは「楽譜を見る」「息を吹く」「鍵盤を押す」など、同時に多くの動きをするため総合的な力が必要となる楽器です。「楽譜を見て、鍵盤を弾く」という目と手の協応動作の実践は、「黒板を見て、ノートに書く」という動作を含めて普段の生活でも役立つ力につながります。



実際に五線譜を使用して、一緒に楽譜を作成しました！　五線譜に音を並べることで音の高低を視覚的に捉えることができ、よりスムーズな演奏ができたり、音程を捉える練習にもなったりします。完成した楽譜を使って自分で演奏する、あるいは誰かに演奏してもらうことで、「できた！」という喜びや達成感もより一層大きくなります。

利用者の声

これまで園などの活動以外で自分から歌を歌うことはあまりなかったけれど、通い始めてから家族の前で歌を披露してくれたり、何気なく鼻歌を歌ったりする様子が見られるようになりました。生活の中で音楽が身近なものになったことがとても嬉しい！

初めてギターを演奏したらとても気に入ったようで、楽器を購入し家でも楽しんでいます。

おとのわでの活動を通じて自信がついたようで、園の音楽の時間にクラスの子どもたちが周りにたくさんいる中でも堂々と活動に参加できるようになりました。

音楽に合わせて踊ったり、タイミングを合わせてトランポリンを跳んだりする練習をしたおかげで自然とリズム感が身についたようで、ずっとできなかった大縄跳びもタイミングをつかんで輪の中に入ることができるようになりました！

通い出してから少しずつ自信がついたようで、生活の中で不安を抱くことが減り、気持ちのコントロールができるようになってきたと感じます。

運動が苦手で、園や体操教室も嫌がることが多いのですが、おとのわに来て初めて自分からトランポリンを楽しそうに何度も跳んでいる姿をみてびっくりしました！

会費・寄付について

子どもたちの心にしなやかな「ものさし」を育む日々の活動は、私たちの思いに共感してくださる皆さまからのご協力によって成り立っています。コロナ禍によって、なかなか思い通りに活動できない状況だからこそ、皆さまのご支援が子どもたちの未来を支える力となります。
ぜひ 2022 年度も引き続きお力添えをお願いいたします。

サポーター（個人会員／法人会員）は、1 年ごとの更新となります。2022 年度もサポーターとしてご支援いただける方は、お手数ですが下記 QR コードや銀行振込、またはホームページよりお手続きをお願いいたします。

サポーターを継続する

個人会員様、法人会員様ともに、引き続きサポーターとしてご支援いただける場合は、こちらの QR コードよりクレジットカードにてお支払いいただけます。

寄付をする

銀行振込または下記の QR コードよりクレジットカード決済でのお手続きが可能です。

銀行振込をご希望の場合

サポーターの継続や寄付は下記口座宛の銀行振込でも受け付けております。

京葉銀行　白井支店
普通口座　8022641
一般社団法人
まどかこどもレグル

レグルの森について





瀧田潔さん（左から２人目）とレグルの輪メンバーの皆さん。

歴史ある集落が残り、自然豊かな景色が広がる白井市の平塚。江戸時代に銚子から江戸まで鮮魚を運ぶ輸送路のひとつが通ったことで地域が発展しました。300 年以上前に建てられた葺屋根の古民家で、国指定重要文化財の「滝田家住宅」では、今も伝統的な暮らしが営まれています。
この滝田家住宅の家主である瀧田さんご夫妻のご厚意により、2021 年の春から同地域の里山を「レグルの森」として、学童保育 ratoon や自然教育事業の活動で使わせていただけることになりました。
瀧田潔さんは地域の歴史や古い農具、書物のことをたくさん教えてくださり、敬子さんは山菜や果樹やお花のこと、美味しそうなお料理のことを楽しくお話ししてくださいます。いつもあたたかく迎えてくださるお二人に心から感謝し、里山だからこそできる経験を子どもたちと積み重ねていきたいと思います。

2022年度の予定

4月
- 春のたけのこ掘り（自然教育事業／レグルの森）
- 春の自然と田んぼの準備
  （自然教育事業／けやき台多目的広場のビオトープ）

5月
- ratoon 田んぼでの田植え（学童保育事業）

6月
- ratoon 田んぼでの草取り（学童保育事業）
- 夏の自然と田植え
  （自然教育事業／けやき台多目的広場のビオトープ）

7月
- 夏のデイキャンプ
  （自然教育事業／レグルの森）
- ratoon キャンプ（学童保育事業）

8月
- ratoon キャンプ（学童保育事業）

9月
- 秋の十五夜（自然教育事業／レグルの森）
- 里山デイキャンプ in レグルの森（学童保育事業）
- ratoon 田んぼのお手入れ（学童保育事業）

10月
- ratoon 田んぼでの稲刈り（学童保育事業）
- ハロウィンウィーク（学童保育事業）
- 秋の自然と収穫
  （自然教育事業／けやき台多目的広場のビオトープ）

11月
- 里山焚火キャンプ in レグルの森（学童保育事業）
- 冬の焚火会（自然教育事業／レグルの森）

12月
- 冬の自然とわらしごと
  （自然教育事業／けやき台多目的広場のビオトープ）
- クリスマス会（学童保育事業）

1月
- 里山焚火キャンプ in レグルの森（学童保育事業）

2月
- 里山焚火キャンプ in レグルの森（学童保育事業）

3月
- ratoon 遠足（学童保育事業）

その他の取り組み

従来の活動に加えて、今後は「季節と地場産作物を味わう食育活動」や「こども食堂」、「地域の緑地、地域の環境保全につながる活動」などの新しい取り組みにも挑戦していきたいと考えています。
また、「レグルの森」では、整備のための手入れ活動を毎月行っています。これらの取り組みの準備や運営、環境整備などにご協力いただける方を「レグルの輪」メンバーとして随時募集しています。地域の未来を描きながら、皆さんとともに歩んでいけたら嬉しいです。

「レグルの輪」メンバー登録はこちら➡